

# 厚生委員会情報連絡

令和2年7月1日

情報連絡事項	頁
(1) 福祉部施設の指定管理者選定について	2
(2) 令和元年度生活困窮者自立相談事業の実績について	4
(3) 「ひとり親家庭高校卒業程度認定試験合格支援事業」の制度改正について	6
(4) 令和元年度ひとり親家庭学習支援事業（派遣型）実績報告について	7
(5) 「子育て世帯への臨時特別給付金の支給事業」の実施状況について	9
(6) 「ひとり親家庭等への足立区独自の緊急支援給付金事業」の実施状況について	9
(7) 令和2年度敬老祝い事業における記念品の贈呈方法の変更について	10
(8) 地域密着型サービス事業の整備・運営事業者の辞退について	11
(9) 令和元年度障がい福祉センター相談事業の実績について	12
(10) 「第2次足立区地域福祉活動計画2019年度（令和元年度）事業報告」の発行及び配布について	16

(福祉部)

## 厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	PRの方法
1 福祉部施設の 指定管理者選定 について  所管課 <b>【福祉管理課】</b> <b>【高齢福祉課】</b> <b>【障がい福祉課】</b>	1 令和2年度選定対象施設 ①総合ボランティアセンター・西綾瀬ボラ ンティアセンター(ボランティア施設) ②高齢者在宅サービスセンター西新井(高 齢者在宅サービスセンター) ③ケアハウス六月(軽費老人ホーム) ④綾瀬福祉園(障がい者通所支援施設) ⑤大谷田就労支援センター(障がい者通所 支援施設) ⑥大谷田ホーム(身体障がい者共同生活援 助施設) ⑦大谷田グループホーム(知的障がい者共 同生活援助施設) <b>【施設所管：①福祉管理課、②～③高齢福祉 課、④～⑦障がい福祉課】</b> ※次期指定管理期間はいずれも、令和3年4 月1日から令和8年3月31日の5年間 2 選定方法 (1) 公募型選定・・・・・・・・①、④～⑦ (2) 指名型選定(非公募)・・・②、③ ※②、③について非公募で実施する理由 ② 高齢者在宅サービスセンター西新井 社会福祉法人西新井だいわ会が運営し ている地域包括支援センターに併設さ れており、共用部分も多く、別法人の 運営は著しく困難である。 施設利用者は、認知症や持病のある要 介護高齢者であり、継続的かつ安定的 な事業運営が求められる。当施設は、 平成31年度評価委員会において(A) の評価を得ている。 ③ ケアハウス六月 社会福祉法人聖風会が運営している特 別養護老人ホーム等の施設に併設さ れており、食堂・エレベータ等共用部分 が多く、別法人の運営は著しく困難で ある。 老人福祉施設の性質上、入居者の身体、 精神面、家庭状況についてよく把握し た上で、安定した運営を継続しなければ ならない。当該施設は、平成31年 度評価委員会において(A-)の評価	<b>【日時】</b> 令和2年7月 月上旬	公募型選定 について、 区ホームペ ージに掲載 し、公募開 始

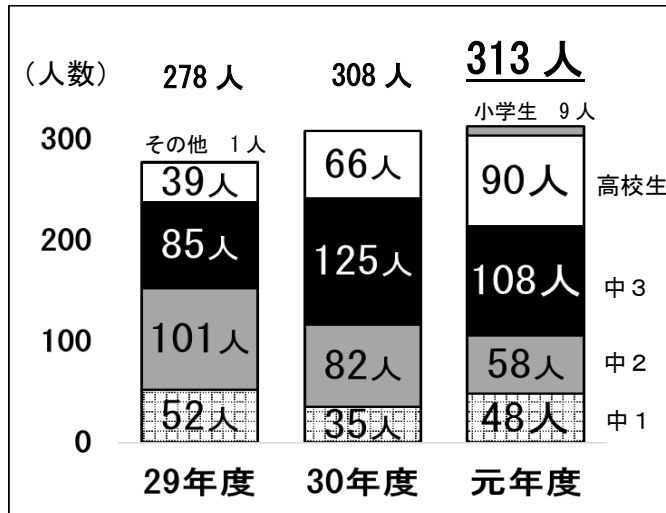
	<p>を得ている。</p> <p>3 選定審査会について</p> <p>(1) 選定審査会の開催（10月下旬予定）</p> <p>(2) 選定施設が多いため2日間に分けて開催</p> <p>(3) 委員の構成</p> <p>ア 学識経験者3名 区内大学教授、公認会計士、社会保険労務士</p> <p>イ 区内関係団体代表者2名 民生・児童委員協議会代表者、女性団体連合会代表者</p> <p>ウ 区職員（参事級）2名 福祉部長、待機児対策室長</p> <p>(4) 審査内容</p> <p>ア プレゼンテーション評価</p> <p>イ 書類審査</p> <p>※審査会実施前に、東京税理士会足立支部に財務診断を依頼予定</p> <p>4 その他</p> <p>審査会実施後は候補事業者を区ホームページに公表予定</p>		
--	---	--	--

# 厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法																											
<p>2 令和元年度生活困窮者自立相談事業の実績について</p> <p>所管課 【くらしと生活の相談センター】</p>	<p>令和元年度における生活困窮者自立支援事業の実績を以下のとおり報告する。</p> <p>1 生活困窮者 自立相談支援相談件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成 30 年度</th> <th style="text-align: center;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">相談件数</td> <td style="text-align: center;">3, 1 7 9</td> <td style="text-align: center;">5, 0 6 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 相談件数は前年度から 1, 8 8 4 件増加 (対前年度 5 9 % 増加) した。</p> <p>※ 増となった主な内容 収入、住まい、仕事探し、こころ・病気 家族・人間関係の問題など複数の複雑な相談が増加している。</p> <p>【参考】令和 2 年度速報値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和元年度 (4月～5月分)</th> <th style="text-align: center;">令和 2 年度 (4月～5月分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">相談件数</td> <td style="text-align: center;">7 8 1</td> <td style="text-align: center;">1, 2 4 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言等の影響に伴い、「収入・生活費」、「住まい・家賃」の相談が増加した。</p> <p>2 就労準備支援事業の実施結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成 30 年度</th> <th style="text-align: center;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">利 用 者</td> <td style="text-align: center;">2 3 4 人</td> <td style="text-align: center;">2 4 4 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">就労決定者</td> <td style="text-align: center;">1 3 4 人</td> <td style="text-align: center;">1 4 2 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">就労体験等 協力事業者</td> <td style="text-align: center;">6 3 事業者</td> <td style="text-align: center;">8 1 事業者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">求人開拓社数 (求人件数)</td> <td style="text-align: center;">3 3 6 社 (7 1 2 件)</td> <td style="text-align: center;">4 5 9 社 (6 5 2 件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 支援内容 ①面談、履歴書作成、面接指導 ②ジョブトレーニング (2 週間連続) ③セミナー開催(パソコン、電話対応、コミュニケーション力等) ④企業見学、就労体験、ボランティア体験</p> <p>(2) 主な就労先職種 清掃 (3 2 人)、事務 (1 1 人)、ドライバー (7 人)、製造 (6 人)、販売 (5 人)、警備 (5 人)、調理補助 (4 人)、介護 (4 人)</p>		平成 30 年度	令和元年度	相談件数	3, 1 7 9	5, 0 6 3		令和元年度 (4月～5月分)	令和 2 年度 (4月～5月分)	相談件数	7 8 1	1, 2 4 1		平成 30 年度	令和元年度	利 用 者	2 3 4 人	2 4 4 人	就労決定者	1 3 4 人	1 4 2 人	就労体験等 協力事業者	6 3 事業者	8 1 事業者	求人開拓社数 (求人件数)	3 3 6 社 (7 1 2 件)	4 5 9 社 (6 5 2 件)		
	平成 30 年度	令和元年度																												
相談件数	3, 1 7 9	5, 0 6 3																												
	令和元年度 (4月～5月分)	令和 2 年度 (4月～5月分)																												
相談件数	7 8 1	1, 2 4 1																												
	平成 30 年度	令和元年度																												
利 用 者	2 3 4 人	2 4 4 人																												
就労決定者	1 3 4 人	1 4 2 人																												
就労体験等 協力事業者	6 3 事業者	8 1 事業者																												
求人開拓社数 (求人件数)	3 3 6 社 (7 1 2 件)	4 5 9 社 (6 5 2 件)																												

3 居場所を兼ねた学習支援の実施結果

利用者数推移



(1) 平成30年度からの主な変更点

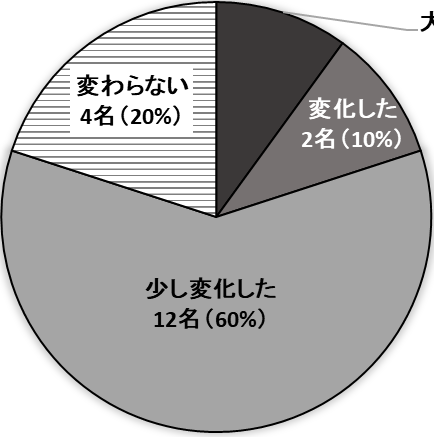
東部地域の拠点施設定員を20人増やし  
拠点施設4か所、ブランチ3か所において  
定員360人で実施（平成30年度の定員  
は340人）

(2) 進路状況

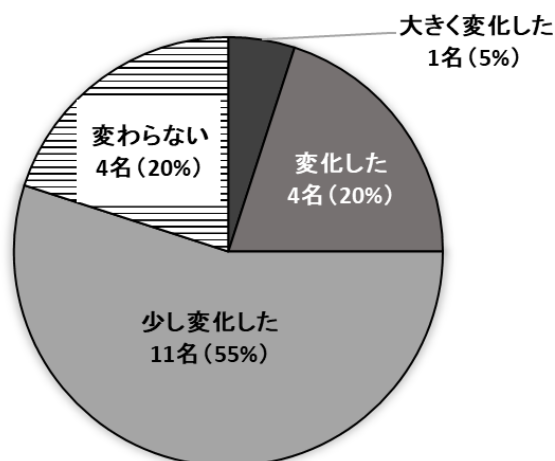
中学3年生108人のうち、106人が高  
校等に進学

## 厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時 及び 場所	PRの 方法																														
<p>3 「ひとり親家庭高校卒業程度認定試験合格支援事業」の制度改正について</p> <p>所管課 【親子支援課】</p>	<p>「ひとり親家庭高校卒業程度認定試験合格支援事業」について、国の制度改正に伴い、以下のとおり、変更する。</p> <p><b>【事業内容】</b> 高校を卒業していないひとり親家庭等の親または子が高校卒業程度認定試験合格を目指すために受講する講座の費用の一部を助成する。（上限30万円）</p> <p>1 改正内容 「講座受講修了時」「試験合格時」の給付割合の変更</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>改正前</th> <th>改正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>受講修了時の給付割合</b></td> <td><b>30%</b></td> <td><b>70%</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内 訳</td> <td>国補助</td> <td>20%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>区独自補助</td> <td>10%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>試験合格時の給付割合</b></td> <td><b>70%</b></td> <td><b>30%</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内 訳</td> <td>国補助</td> <td>40%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>区独自補助</td> <td>30%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>合計</b></td> <td><b>100%</b></td> <td><b>100%</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 改正の背景 (1) 「学び直し」の取組みに対する支援の強化 (2) 受講修了時の給付割合を高くすることによる利用促進及び経済的負担の軽減</p> <p>3 適用日 令和2年4月1日</p> <p>4 その他 事業の実施要綱を一部改正する。</p>			改正前	改正後	<b>受講修了時の給付割合</b>		<b>30%</b>	<b>70%</b>	内 訳	国補助	20%	40%	区独自補助	10%	30%	<b>試験合格時の給付割合</b>		<b>70%</b>	<b>30%</b>	内 訳	国補助	40%	20%	区独自補助	30%	10%	<b>合計</b>		<b>100%</b>	<b>100%</b>		<p>区ホームページ、チラシ、豆の木メール・応援アプリ</p>
		改正前	改正後																														
<b>受講修了時の給付割合</b>		<b>30%</b>	<b>70%</b>																														
内 訳	国補助	20%	40%																														
	区独自補助	10%	30%																														
<b>試験合格時の給付割合</b>		<b>70%</b>	<b>30%</b>																														
内 訳	国補助	40%	20%																														
	区独自補助	30%	10%																														
<b>合計</b>		<b>100%</b>	<b>100%</b>																														

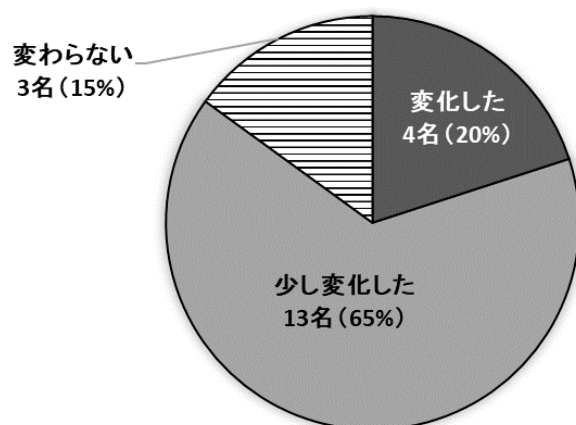
件 名	内 容	日時 及び 場所	PRの 方法																																						
4 令和元 年度ひと り親家庭 学習支援 事業(派遣 型)実績報 告につい て  所管課 【親子支援 課】	<p>令和元年度ひとり親家庭学習支援事業（派遣型）の実績は、以下のとおりである。</p> <p>1 事業概要</p> <p>対 象：足立区で児童扶養手当を受給または同等の所得水準にあり、民間塾、家庭教師、区が実施する学習支援事業（はばたき塾、土曜塾、居場所を兼ねた学習支援等）を利用していない世帯</p> <p>定 員：20名</p> <p>費 用：無料</p> <p>学習方法：自宅に講師を派遣し、1対1の学習支援を行う。</p> <p>学習科目：主要5教科</p> <p>学習時間：週1回、小学生 90分 中学生 120分</p> <p>2 派遣児童・生徒数の状況</p> <table border="1" data-bbox="316 779 1217 987"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">小4</th> <th rowspan="2">小5</th> <th rowspan="2">小6</th> <th rowspan="2">中1</th> <th rowspan="2">中2</th> <th rowspan="2">中3</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>父子</th> <th>母子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>6名</td> <td>1名</td> <td>7名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中3の2名は都立高校（1名は通信制）に進学</p> <p>3 派遣期間および回数 令和元年5月～令和2年3月末まで 計643回</p> <p>4 支援をした児童生徒の在籍校における変化 (1) 変化度:派遣講師から児童生徒の課題・支援内容について情報提供をうけた学校の担任教諭による評価(3月期)</p> <p style="text-align: center;"><b>【学習習慣の定着】</b></p>  <p style="text-align: center;">全体のお80%に変化あり</p>		小4	小5	小6	中1	中2	中3	計		父子	母子	男	1	0	4	1	5	1	0	12	女	2	1	2	0	2	1	0	8	計	3名	1名	6名	1名	7名	2名	0名	20名		
	小4								小5	小6	中1	中2	中3	計																											
		父子	母子																																						
男	1	0	4	1	5	1	0	12																																	
女	2	1	2	0	2	1	0	8																																	
計	3名	1名	6名	1名	7名	2名	0名	20名																																	

### 【学習に対する理解度】



全体の80%に変化あり

### 【物事に取り組む意欲・姿勢】



全体の85%に変化あり

#### (2) 変化の内容

##### 【学習習慣の定着】

- ・ 課題に丁寧に取組むようになった (小6)
- ・ 宿題の提出状況が良くなった (小4・小6)
- ・ 進学を意識して自主的に学習に取り組むようになった (中3)

##### 【学習に対する理解度】

- ・ 支援を受けている教科の理解力が身についた (小6、中2)
- ・ 理解できることが増え、理解が早くなった (小4、中3)

##### 【物事に取り組む姿勢・意欲】

- ・ わからないことを自分で確認しようとする姿勢が身に付いた (小4)
- ・ 学習だけでなく学校行事にも積極的に取組むようになった (中2)



## 厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時 及び 場所	PRの 方法
<p>5 「子育て世帯への臨時特別給付金の支給事業」の実施状況について</p> <p>所管課 【親子支援課】</p>	<p>「子育て世帯への臨時特別給付金の支給事業」の実施状況を報告する。</p> <p>1 事業内容 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活を支援する取組みとして、児童手当の受給者に対し、対象児童1人につき10,000円の給付金（一時金）を支給</p> <p>2 一般受給世帯 令和2年5月15日 案内送付 44,197世帯 6月16日 口座振込 ※6月3日現在の予定振込金額 704,190,000円 (44,172世帯分)</p> <p>3 公務員世帯 令和2年7月以降 申請受付開始 9月以降 審査・支給決定 10月以降 口座振込</p>		
<p>6 「ひとり親家庭等への足立区独自の緊急支援給付金事業」の実施状況について</p> <p>所管課 【親子支援課】</p>	<p>「ひとり親家庭等への足立区独自の緊急支援給付金事業」の実施状況を報告する。</p> <p>1 事業内容 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対する緊急支援として、児童育成手当の受給者に対し、対象児童1人につき20,000円の給付金（一時金）を支給</p> <p>2 案内送付 令和2年6月9日、8,119世帯に案内送付 (児童 11,808人分)</p> <p>3 口座振込 7月上旬以降、口座振込</p>		

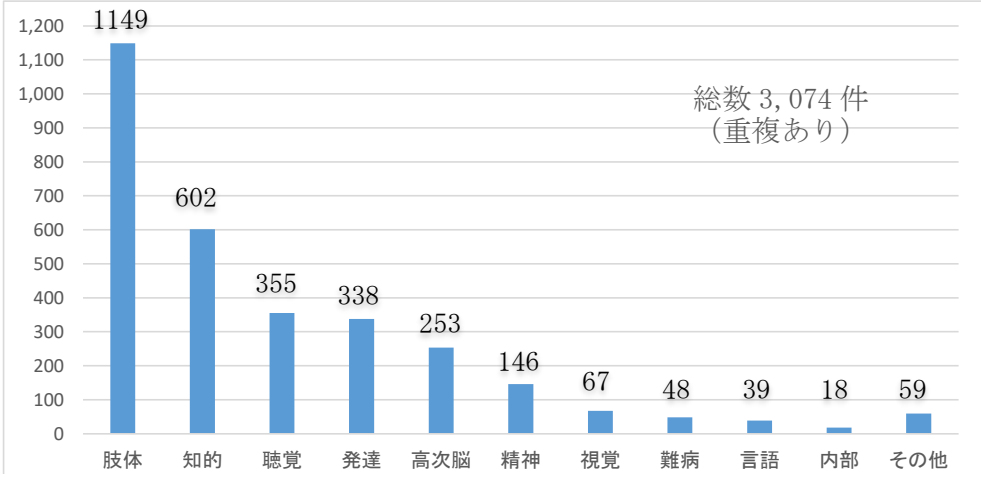
## 厚生委員会委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法
7 令和2年度敬老 祝い事業における 記念品の贈呈方法 の変更について  所管課 <b>【高齢福祉課】</b>	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 白寿（99歳）、米寿（88歳）の記念品 の贈呈方法を郵送に変更する。  1 変更点 （1）白寿 訪問希望者に対する記念品 の贈呈を見合わせ、対象者全員「ゆ うパック」で送付する。 （2）米寿 民生委員による自宅訪問を 見合わせ、対象者全員「簡易書留」 で送付する。  2 贈呈方法変更に伴う留意点 （1）民生委員に贈呈方法変更の周知を 行う。（令和2年5月7日通知済） （2）対象者に郵送とする旨を通知する。 （3）記念品は敬老の日までに届くよう発 送時期を郵便局と調整する。	<b>【配達日】</b> ・白寿は9月21 日（敬老の日）  ・米寿は9月15 日から21日の 間	・対象者には書面で通知する。  ・白寿は、6月に通知  ・米寿は、9月に通知  ・あだち広報（8月25日号）や区ホームページ等で周知する。

## 厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	PRの方法
<p>8 地域密着型サービス事業の整備・運営事業者の辞退について</p> <p>所管課 【介護保険課】</p>	<p>令和元年8月に選定した地域密着型サービス事業の整備・運営事業者について、以下のとおり辞退があったので報告する。</p> <p>1 辞退した事業者</p> <p>(1) 法人 医療法人社団 福寿会 (本部：足立区)</p> <p>(2) 事業所名 (仮称) グループホームすずめのお宿・梅田</p> <p>(3) 地区名 南西地区</p> <p>(4) 応募地 足立区梅田五丁目26番</p> <p>(5) 種別 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)</p> <p>2 辞退理由 資金計画の実行が困難となったため、公募要件を満たさなくなった。</p> <p>3 現状と今後の対応 第7期介護保険事業計画では、認知症高齢者グループホームの計画上の整備目標は38施設となっており、令和2年度は、辞退分を含め2施設を公募予定</p>		

# 厚生委員会情報連絡一覧表

件名	内容	日時及び場所	PRの方法																																		
<p>9 令和元年度障がい福祉センター相談事業の実績について</p> <p>所管課 【障がい福祉センター】</p>	<p>令和元年度障がい福祉センターにおける相談事業の実績について以下のとおり報告する。</p> <p>1 自立生活支援室</p> <p>(1) 障がい者に対する総合相談</p> <p>ア 一般相談件数 (件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談</td> <td style="text-align: center;">732</td> <td style="text-align: center;">824</td> <td style="text-align: center;">813</td> </tr> <tr> <td>継続相談</td> <td style="text-align: center;">2,085</td> <td style="text-align: center;">2,088</td> <td style="text-align: center;">1,891</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">2,817</td> <td style="text-align: center;">2,912</td> <td style="text-align: center;">2,704</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ マネジメント件数 (件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援者数</td> <td style="text-align: center;">165</td> <td style="text-align: center;">111</td> </tr> <tr> <td>対応件数</td> <td style="text-align: center;">628</td> <td style="text-align: center;">733</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 相談者の障がい種別</p> <div style="text-align: center;">  <p style="margin-top: 10px;">総数 3,074 件 (重複あり)</p> </div> <p>※ 肢体の障がいに関する相談のうち、半数は福祉用具の相談である。</p> <p>(2) 補装具の相談・判定 (件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td style="text-align: center;">441</td> <td style="text-align: center;">506</td> </tr> <tr> <td>判定件数</td> <td style="text-align: center;">94</td> <td style="text-align: center;">98</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 補装具の相談では、補装具の事前評価及び作成後の適合判定など個別に対応している。</p> <p>※ 補装具の判定は、本来は東京都の事業であるが、利便性等の理由から区指定医の協力を得て障がい福祉センターで実施しており、特別区では、足立区のほか、世田谷区、板橋区のみが実施。</p> <p>(3) きこえの相談</p> <p>毎週火曜日から金曜日まで言語聴覚士による相談を受ける。</p>		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	新規相談	732	824	813	継続相談	2,085	2,088	1,891	計	2,817	2,912	2,704		平成 30 年度	令和元年度	支援者数	165	111	対応件数	628	733		平成 30 年度	令和元年度	相談件数	441	506	判定件数	94	98		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																																		
新規相談	732	824	813																																		
継続相談	2,085	2,088	1,891																																		
計	2,817	2,912	2,704																																		
	平成 30 年度	令和元年度																																			
支援者数	165	111																																			
対応件数	628	733																																			
	平成 30 年度	令和元年度																																			
相談件数	441	506																																			
判定件数	94	98																																			

音場検査など聴力判定や補聴器のフィッティングまで専門的な相談に応じている。

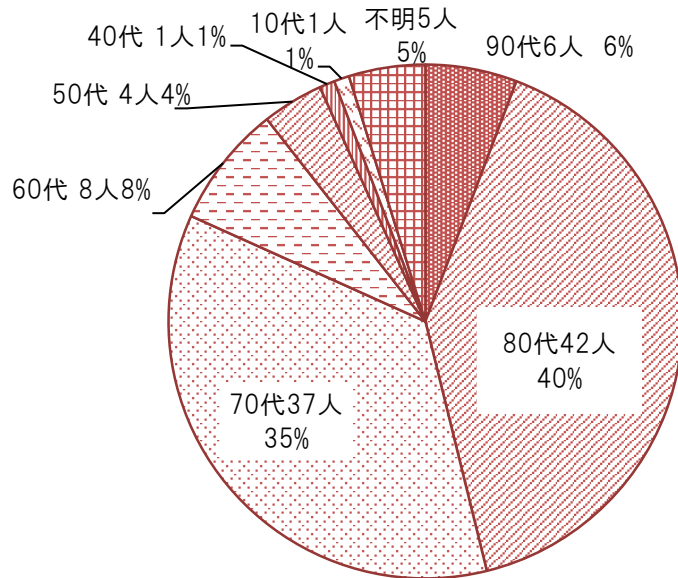
ア 相談件数 ( )内は前年度実績

種 別	件 数
言語聴覚士・相談	175 (128) ※うち新規 104人 (90人)
言語聴覚士・評価	24 (68)
耳鼻科医師・相談	7 (4)
ピアサポーター・相談	2 (4)

イ 相談内容 (新規相談 104人について、重複あり)

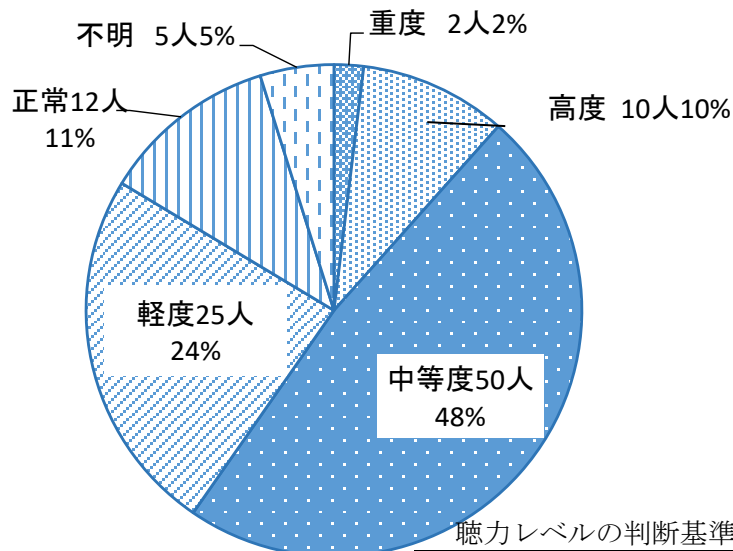
相談内容	件 数
聴力の衰え	90
補聴器	68
耳鳴り	5
障がい者手帳の取得	2
生活・コミュニケーション	3
福祉機器	2
その他	10
合 計	180

ウ 年齢別内訳 (新規相談 104人について)



※ 新規相談者は、65歳以上が全体の88% (92人) を占め、加齢による難聴の相談が多い。

エ 聴力検査の結果（新規相談104人）



重度	高度	中等度	軽度	正常
90~	70~89	40~69	26~39	~25

※ 身体障がい者手帳の取得につながった方 12人  
 （6級相当6人、語音明瞭4級相当5人、2級1人）

(4) ピアサポート（障がい当事者による相談） (件)

	肢体	聴覚	視覚	高次脳	計
相談件数	29 (25)	28 (28)	6 (23)	4 (1)	67 (77)

( ) 内は前年度実績  
 ・総合相談やきこえの相談からピアサポートを紹介することが多い。

2 雇用支援室

(1) 相談件数・支援者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数 (件)	12,129	13,312	12,681
新規支援者数・求職 (人)	61	52	50
新規支援者数・定着 (人)	65	90	83

(2) 支援者の障がい種別（重複あり）

ア 身体障がい 延べ341人 (人)

肢体 1~3	肢体 4~7	視覚 障害	聴覚 障害	平衡 機能	音声 言語	内部 障害
124	78	37	66	1	8	27

イ 知的障がい 延べ1,116人 (人)

1度	2度	3度	4度
0	1	162	953

ウ 精神障がい 延べ427人  
(人)

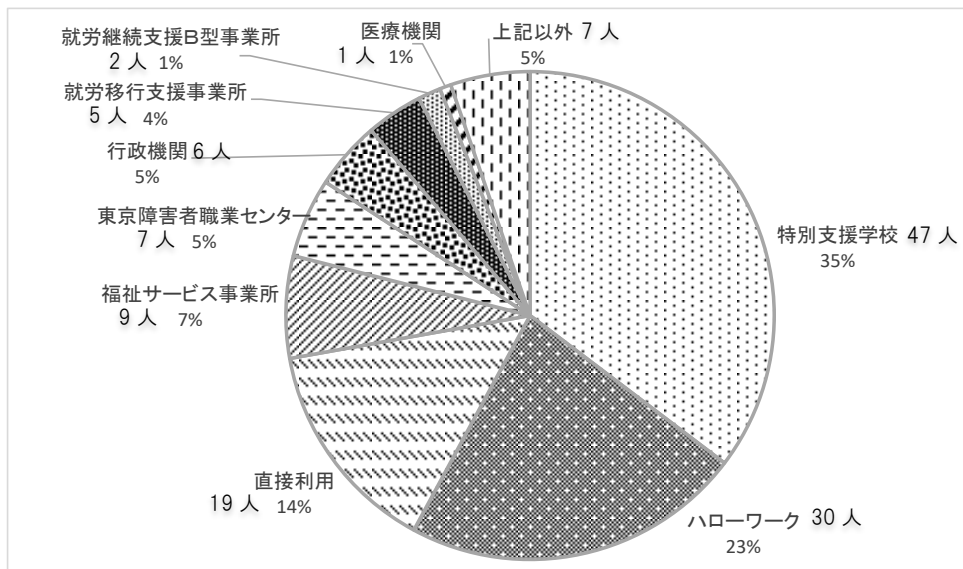
1級	2級	3級
8	149	270

エ 手帳なし 延べ35人

オ 発達障がい等の支援状況 (人)

	発達	てんかん	高次脳	難病	計
令和元年度	390	146	81	19	636
平成30年度	356	143	78	19	596
増減	34	3	3	0	40

(3) 相談に至る紹介経路 (新規登録133人)



(4) 就労状況

ア 一般企業への就労者数 (延べ人数) (人)

内容	計	前年度比
身体障がい	17	+6
知的障がい	22	+10
精神障がい	31	+9
手帳なし	4	+3
計	74	+28

イ 就労先の業種 (実人数61人の内訳) (人)

建設	製造	電気ガス	情報通信	運輸	卸売小売
3	8	0	6	3	8
金融保険	不動産	飲食宿泊	医療福祉	教育学習	その他
3	0	3	7	2	18

## 厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	PRの方法
<p>10 「第2次足立区地域福祉活動計画2019年度（令和元年度）事業報告」の発行及び配布について</p> <p>所管課 【足立区社会福祉協議会】 【福祉管理課】</p>	<p>1 冊子の目的 第2次足立区地域福祉活動計画（平成27年度から令和2年度。以下「計画」とする。）の2019年度（令和元年度）における取組み結果を取りまとめ、計画の進捗管理に用いるとともに、住民及び関係機関の方々への情報提供等に活用する。</p> <p>2 発行部数 350部</p> <p>3 冊子の内容 （1）取組みの結果 計画の推進にかかる2019年度（令和元年度）の社協事業の結果をまとめた。 （2）ささえあい活動事例集の紹介 令和元年度の地域住民などによるささえあいの活動事例の紹介をする。 社協ホームページ「ささえあいブログ」 （<a href="https://adachi.syakyo.com/service/chiiki-fukushi/report/">https://adachi.syakyo.com/service/chiiki-fukushi/report/</a>）</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関への送付</li> <li>・ 出前講座、フォーラム（イベント）等での配布</li> </ul>